

原点回帰 時代に逆行した服作り

大館市内に、古きアメリカの趣を漂わせるビルがある。1階・2階は、自社製の衣類や革製品のほか、アメリカ直輸入のヴィンテージ家具や雑貨を売る「ダリーズ&コー」。3階に、縫製工場「オルダクト」がある。これらを営むのが、アメカジのオリジナルブランド「デラックスウェア」と「ダリーズ&コー」を展開するアパレルメーカー、株式会社デラックスウェアだ。

直営店「ダリーズ&コー」のスタッフと。忙しい合間を縫って打ち合わせ。

❖ アメリカンヴィンテージの追求

生産拠点を海外に設けたり、OEMで下請け会社に委託したりする企業が多い中、デラックスウェアは、ジーンズ、シャツ、カットソー、アウター、アクセサリなど、商品の企画、デザイン、素材の開発、製造、卸・小売までを自社で行う、国内では珍しいトータルプロデュースメーカー。

創業は2005年。大館市に拠点を置きながら、わずか12年の間に、全国に熱烈なファンを持つアメカジブランドへと成長した。今や北海道から沖縄まで33都道府県62店のセレクトショップに商品を卸す。一度買って惚れ込み、リピーターになる客が多いというデラックスウェアの商品。その理由を村松隼人社長は、「我々が目指す理想の服作りへの共感が大きい」と分析する。

ブランドコンセプトに掲げるのは「原点回帰」。商品は、1920年～50年のアメリカの製法を追求する。しかし、

「ヴィンテージ衣料の完全復刻」が目的ではない。当時の創意工夫や哲学を形にすることを目指している。「機械によって大量生産される現代の服には、効率化が進んだことで昔の服にあった職人の技、手仕事や匠な素材感などの風合いが失われた」。技術が発展した現代では再現が難しい味や風合い、技や価値を、アメリカンヴィンテージを手本に追い求める。

❖ 産地の職人と作り上げる

ファストファッション全盛の今、古いものや職人の手仕事に価値を見出し、非効率的で時間をかけた丁寧な仕事を実践するために訪ねる先は、全国の産地や、古い織機、編機などを所有する工場。現場の職人たちと意見を交わし、時には頼み込んで、糸、染色、編み方、機械の調整まで、細部まで妥協せずに素材を作る。岡山は

デニム、和歌山はニット、愛知はウール、新潟はネルなど、各産地の契約工場、糸を紡ぐところから始め生地を織るなど探究心は尽きることがない。こうして凝りに凝って作った素材を自社工場に集めて縫製する。

自社工場では、100年以上も前に作られたヴィンテージミシンが40台以上、現役で活躍している。「ヴィンテージ衣料に近い品質を求めた結果、ミシンも当時のものにたどり着いた」。中には1800年代製の“博物館級”ミシンもある。

❖ 飛び込み営業で販路開拓

創業者で代表取締役の村松隼人氏は小坂町出身。高校時代、古着やヴィンテージジーンズに興味を抱いた。卒業後、県外の大手自動車会社に就職するも、「本当にやりたいことは?」と自問した結果、盛岡市の古着屋に転職。古着の山に日々向き合い、ヴィンテージを見分ける目を鍛えた。その後、長野県のアパレルメーカーへ。平日は、服の企画やデザイン、週末は店舗に立つ毎日を送った。

26歳で帰郷。これまでの経験が活かせる就職先がなかったことから、自ら起業した。日中、仕事の時間を確保するため、夕方から飲食店でバイトをして資金を貯めた。たった1人、借入れゼロでの出発。「設立を祝おうと、

缶ビール1本買ったら資本金がなくなった」と振り返る。バイト代を握りしめ工場を探し、やっとの思いで作ったTシャツ4枚を手に全国各地のセレクトショップに飛び込みで営業。実績も知名度もない地方から来た若者の話は簡単には聞いてもらえず、門前払いばかりだったが、熱意を懸命に伝え、5店(札幌、三重、岡山、和歌山、福岡)から契約を取った。生産に協力してくれる産地や工場を探し回ったときも、「帰れ!」と罵倒された。それでもめげず、何度も通って熱意を伝えて契約を結んだ。さらに全国を飛び込みで回り、取引先を増やして今に至る。スタッフ30人は、ほとんどが正社員。売り上げは右肩上がりで大館市内に自社ビル2棟を所有するが、いつも頭の中は、「服」で占められている。「『そこまでやるか』と呆れられるほど、お客様のための研究開発にのめり込んでいる」と笑う。

「理想の服作りを叶えるためには、自分たちで作るしかない」と2010年、自社工場を構えた。大館市や近隣の北秋田市は、縫製工場が多く、カットソーの産地としては全国屈指。ものづくりの技術力はあるが、企画や開発を行う企業がない。こうした工場と手を取ることができたら、あえて拠点を大館に置いた。一年の大半は全国の産地や取扱店を訪ね回る日々。その情熱や行動力の源は?「単純に服が好きだから」と笑顔で話す。



株式会社 デラックスウェア

〒017-0893 大館市桂城8-3
TEL.050-3802-7412 <http://www.deluxeware.jp>
[ダリーズ&コー] 〒017-0842 大館市馬喰町16 / TEL.050-3734-8736

- 創業/平成17年
- 事業内容/アメカジブランドの経営、製造、卸、販売。
- 資本金/1,000万円
- 直営店「ダリーズ&コー」・縫製工場「オルダクト」・グラフィックデザイン&WEB「エイトアップ」の経営
- 従業員数/30人

※ 経営探訪は、センター利用企業を掲載しています。

- A 食器や衣類、インテリア雑貨、家具、照明などの商品が並ぶ「ダリーズ&コー」の店内。
- B 小気味良い音を響かせ、職人たちがジーンズやシャツを縫う。
- C 「オルダクト」の作業風景。
- D アメリカのヴィンテージミシン「ユニオンスペシャル」など希少なマシンを使って縫製。
- E 「ダリーズ&コー」と「オルダクト」が入る自社ビル。この他、事務所とデザイン部門が入るビルを所有。